

新津鉄道資料館が鉄道史学会住田奨励賞特別賞を受賞した件について

1. 住田奨励賞特別賞とは

J R 東日本初代社長で鉄道産業の発展に寄与した住田正二、(1987 年～1993 年) の名を冠する賞。2010 年設立。「鉄道を中心とした近代交通史に関する博物館等での展示や各種資料の保存活動において、優れた功績を残し社会に貢献したもの」に与えられる。

2. 授賞式

期 日 平成 28 年 9 月 24 日 (土) 午後 6 時
第 34 回鉄道史学会大会・会員総会において実施
会 場 青山学院大学青山キャンパス (東京都渋谷区)
授 与 賞状, 盾, 賞金 10 万円

3. 鉄道史学会について

創 立 1983 (昭和 58) 年
目 的 鉄道史研究の発展に寄与し、関連学会との連携を密にし、会員の研究活動の振興および相互の親睦をはかること
活 動 大会の開催 (年 1 回)・学会誌 (鉄道史学) の刊行・住田奨励賞の授与など
会 長 青木真美 (2016 年 1 月現在 同志社大学商学部教授)

4. 参考：住田奨励賞特別書受賞歴：

平成 22 年度 くりはら田園鉄道の資料保存活動 (宮城県栗原市)
平成 23 年度 くにたち郷土文化館 2010 年度秋季特別展「学園都市開発と幻の鉄道―激動の時代に生まれた国立大学町―」(東京都国立市)
平成 24 年度 尾道学研究会『タイムスリップ・レール…オノテツ』(広島県尾道市)
平成 25 年度 鉄道博物館 これまでの展示企画及び保存活動に対して (埼玉県さいたま市)
平成 26 年度 沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会 (福島県猪苗代町)
平成 27 年度 東北福祉大学・鉄道交流ステーション (宮城県仙台市)